

～協働型社会を目指して 中央区の取り組み～

中央区役所が変わります

札幌市では、「協働型社会」の実現を目指しており、中央区役所でも、さまざまな協働によるまちづくりをより一層進めていきます。

二つの方針

★市民から信頼され、親しまれる区役所になります

★市民と共に考え、行動します



リーフレットを作成し、区役所1階広聴係で配布中

中央区役所では、プロジェクトチームによる検討や、職員全員の参加を目指した「職員アンケート」、「職場検討会」を行いました。そして、多くの職員の意見を集約して、「中央区役所運営方針」を作成しました。それが上に掲げた二つの方針です。

◆それじゃ何をすることにするのか

市では、行政が中心となってまちづくりを担うこれまでの考え方から、さまざまな構成員が、主体的にまちづくりを担っていく「協働型社会」の実現を目標に掲げました。そうした中、まず、まちづくりを担う構成員である市役所自らが変わる必要があります。そこで、中央区民に一番身近な中央区役所が率先して変わっていくようにしているのです。

◆どうして変わらなきゃいけないの

西区との境に日新公園（北八条西二五丁目）があります。ここは平成十三年度に、地域の方々の意見を取り入れながら作り直しました。この公園の改造計画を作るに当たり、中心になったのが、公園の隣にある日新小学校の児童です。児童たちは、地域のお年寄りや小さい子どもを持つお母さん、障害のある人など、さまざまな人に要望を聞いて回りました。その結果、入り口をスロープにしたり、四季折々の木を植えたりすることなどが計画に盛り込まれ、日新公園は、地域の住民が使いやすい公園へと生まれ変わったのです。

◆例えばどんなことが協働によるまちづくりなの



地域の人たちの思いがたくさん詰まった日新公園